

会社を見る目を鍛える

- ・ 株式市場をみながら、今後の資産運用を改めて見直そうという人は大勢いると思う。アドバイスする人も、投資を考える人も、もうこりごりという人も、ぜひ会社説明会に行ってみると元気がでてる。
- ・ 新聞やネットを見ていると、個人投資家向け会社説明会(企業IR)がいろいろ企画されている。すぐに儲かる銘柄が見つかるわけではないが、それぞれの会社が今の経済環境をどう捉え、自分の会社をどうしようとしているのか、うまくいっているのはどうしてか、うまく行かないとすれば何が課題なのか、などについて、社長から直接話が聞ける。
- ・ 社長の真剣な思いが顔色や声に出ている。別の会社と比べて特色が分かる。会社が先行きをどう見ているかがわかる。社長は会社をどうしたいかがわかる。反面、会社の中身はよさそうなのに伝え方がうまくない場合、逆に資料と話し方はうまいが肝心の中身が不十分といった場合もある。
- ・ 話を聞いても、会社の将来計画が本当に実現するかどうかははっきりしない。投資家として自分で判断しろといわれても、すぐには分からないが、数を重ねていくと、次第にはっきりしてくる。大事なことは、この会社はきっとこうなるだろうと自分で決めて、暫くしてその判断の良し悪しを確認することである。この意思決定の回数が、本人を鍛える。
- ・ 若い人は自らのビジネス感覚を磨くことになる。引退した人は、時間を社会に向け、投資のチャンスも狙える。そういう人が増えると、社長は会社を良くしようとがんばる。大会社よりは、小さい上場企業の説明会に行ってみると、ピンと伝わってこよう。